

大人の発達障害専門 SSTプログラム

VR・運動プログラム レポート

What 's 発達障害専門SST ?

発達障害の診断を受けている方・可能性がある方を対象
例：自閉症スペクトラム(ASD)

臨床心理士・理学療法士・作業療法士・生活支援員などの
多職種チームによるサポート

発達課題に沿ったまた認知機能の改善を目的とした
ソーシャルスキルトレーニング

※SST(ソーシャルスキルトレーニング)とは、社会で人と人が関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身に付ける訓練のことを指します。

VR

(バーチャルリアリティ)



事前説明

VRゴーグルの操作方法及び、コンテンツに登場する人物や場所、シチュエーションについて事前に説明します。



場面体験トレーニング

コンテンツに近い姿勢で
実際に体験します。

コンテンツ内での行動・選択が
ストーリーに変化をもたらします。



うまくいかない事を
店長に伝える

このまま最後まで
続ける

うまくいかないので
別の仕事をする

VRイメージ



現実に近いリアル体験

まるで現実の様な360度空間で、ソーシャルスキルが必要なさまざまな場면을体験することができます。

VR体験後の視線をデータ化

VR体験後の視線データを閲覧できるため、話している人の顔など見るべき場所を見ることができているか可視化することができます。

楽しく何度でも挑戦

VRならではの得点機能やストーリー分岐で安心して何度も挑戦したくなる仕掛けがたくさんあります。



企業の面接での自己紹介や、電話の掛け方、受け取り方など体験



面接(1対3)

面接官からの質問にきちんと答えられるか



最終面接(1対1)

面接官からの質問にきちんと答えられるか



面接後の電話(受電)

自分のスケジュールと相手のスケジュールを調整して日程を決めることができるか

同期や上司との会話、バックヤードでのトラブル対処、接客など体験



誰に相談する？

部長から仕事を頼まれたが、分からないところがある。誰に相談するのがいいのか。



本棚整理

店長に本棚の整理を頼まれるがそこにお客さまがいる。どのように対応するのか。



仕事体験

どのような仕事があるのか、どのような業務を行なっているのかなど、実際の仕事の場면을体験。



03 振り返り

受講者の行動・選択が周囲へ及ぼした影響や理由、その後の展開の予想、改善点等について分析・考察します。

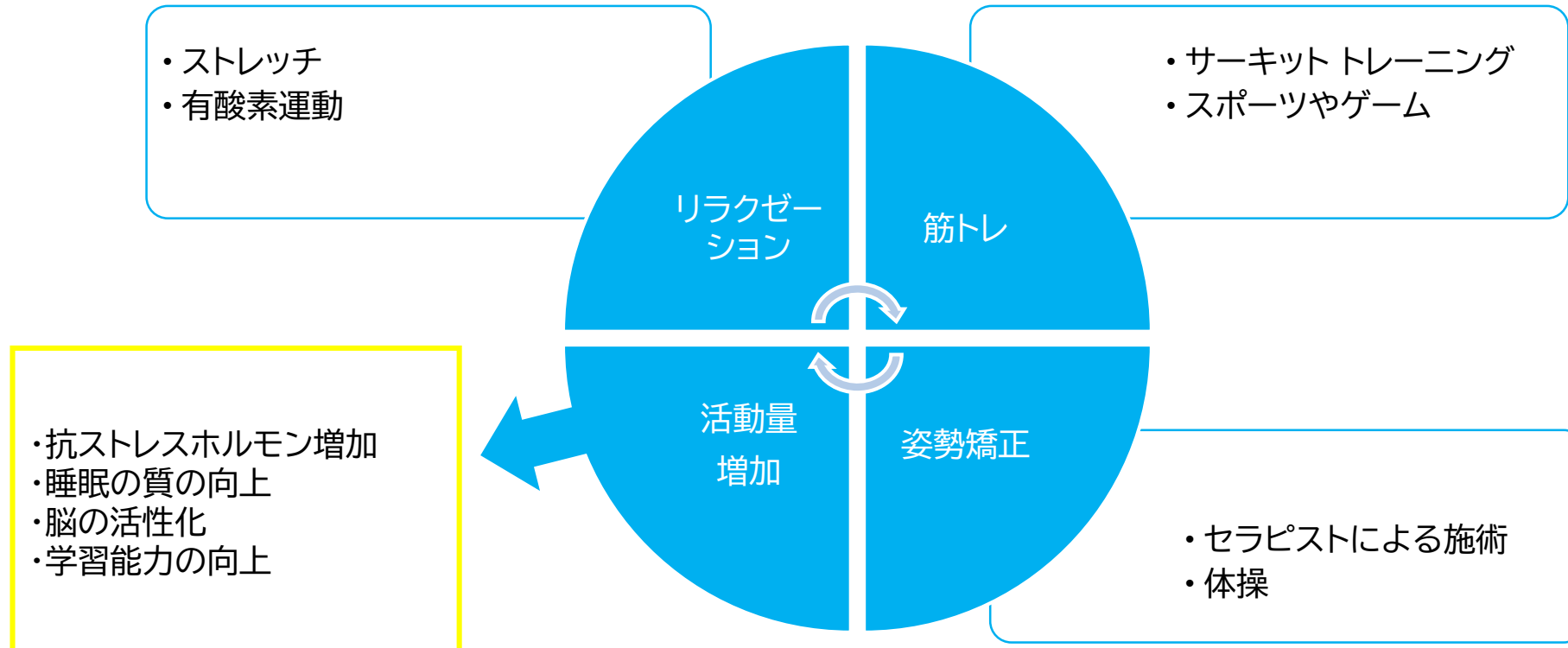
運動プログラム

運動プログラム

運動を通して集中力や持続力の向上を図る

セラピスト(理学療法士・作業療法士)が
おひとりお一人に合わせた内容で個人のプランを組み立てます。

■ 運動プログラムによる効果 ■





ストレッチ

個別に評価し、硬くなっている
筋肉のストレッチを行います。



体操

肩凝り体操や腰痛体操も行います。



筋力増強訓練

大きな筋肉だけでなく、
インターマッスルも鍛えます。
体幹の筋力をつけることで、
姿勢の改善にも繋がります。



セラピスト: 向井

担当者より

VRで臨場感のある対人コミュニケーションが何度でも練習できます。

運動プログラムでは気持ちよく身体を動かし、楽しく行っています。

体験者の声



“VR”という新しい機器を活用して
いるため、モチベーションも継続でき、
からだのケアの方法や知識を学ぶ
ことができます。

コミュニケーション×からだのことを
学ぶ良い機会になっています。